

# 奄美大島・喜界島農業の動き

■令和7年2月

## 1 奄美大島のたんかん収穫開始

2月1日、JAあまみ大島事業本部主催の「奄美たんかんはさみ入れ式」が瀬戸内町古志集落のたんかん園で盛大に開催されました。今年度産のたんかんの生産量は、前年度より増加する見通しでしたが、夏季の高温や秋季の長雨による日照不足で、日焼け果の発生や糖度不足が懸念される気象環境でした。また、今年はヒヨドリ等の鳥害被害も発生し、生産者は大変苦勞する年となりました。果実品質の低下に伴う規格外品への懸念から、共販量の計画は前年度約19t減の約61tを予定しています。



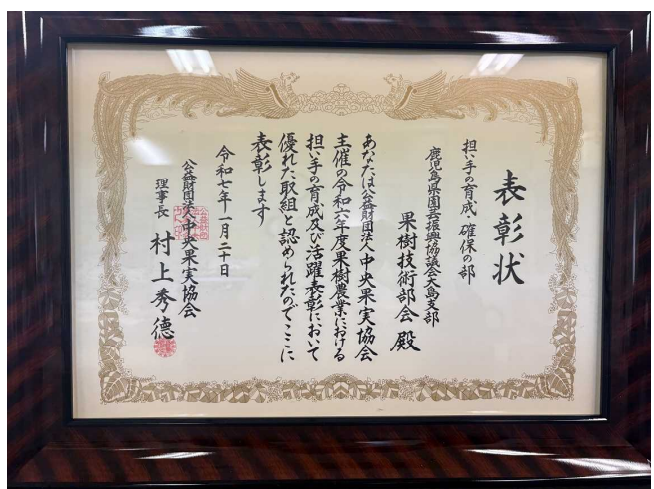
はさみ入れ式の様子①



はさみ入れ式の様子②

## 2 「鹿児島県園芸振興協議会大島支部果樹技術部会」が受賞記念の事例発表会に出演！

2月3日に、「令和6年度果樹産地における後継者・担い手育成の取組み事例発表会」が開催され、先に催された「令和6年度果樹農業における担い手の育成及び活躍表彰」で受賞した全国の8団体がweb出演しました。地域外の人材の果樹農業への定着をサポートしてきましたが功績が評価され、今回「中央果実協会理事長賞」を受賞しました。「鹿児島県園芸振興協議会大島支部果樹技術部会」を代表して、事務局の大島支庁農政普及課が意見交換会の部に出演し、地域での取組状況を広く紹介しました。



中央果実協会理事長賞表彰状

## 果樹産地における後継者・担い手育成の取組事例発表会(第2回) — 担い手の育成及び活躍表彰受賞組織の後継者・担い手育成の取組み —

プログラム:

主催:公益財団法人中央果実協会

後援:農林水産省

- (1)開会
- (2)後継者・担い手の育成のための研修・樹園地継承等の取組みの特長と課題(公益財団法人中央果実協会) [10分程度]
- (3)果樹産地における取組事例紹介 [90分程度]
  - ①えひめ中央農業協同組合における取組み(JAえひめ中央営農部経営支援課課長 林 諭 氏)
  - ②有限会社藤川果樹園における取組み(有限会社 藤川果樹園 代表取締役 藤川 寿夫 氏)
  - ③芦北地方農業振興協議会における取組み(熊本県芦北地域振興局農林部農業普及・振興課 上村 浩憲 氏)
  - ④ふくしま未来農業協同組合における取組み(ふくしま未来農業協同組合営農経済部営農経済企画課課長 佐藤 剛 氏)
- (4)意見交換会 [65分程度]

事例発表者以外の出席者(取組紹介)

  - 鹿児島県園芸振興協議会大島支部果樹技術部会(鹿児島県大島支庁農林水産部農政普及課 松尾 至身 氏)
  - ひろさき農業総合支援協議会(弘前市農林部農政課担い手育成係主査 片岡 卓也 氏)
  - 農事組合法人くだもの畠(農事組合法人くだもの畠代表理事 佐藤 尚利 氏)
  - 公益財団法人東松山市農業公社(公益財団法人東松山市農業公社 須賀 昭雄 氏)

意見交換のテーマ:果樹農業の後継者・担い手の育成の取組みに当たって重要なポイント  
研修や園地継承等の果樹特有の難しさ
- (5)閉会

### 発表会プログラム

### 3 奄美群島たんかん品評会, 昨年を上回る出品で盛大に開催!

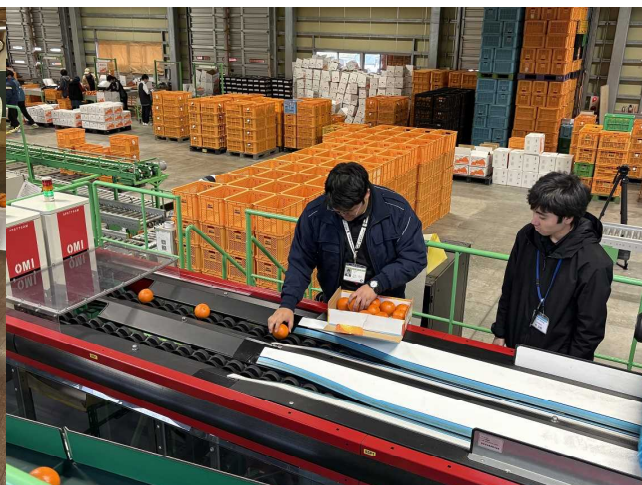
2月6日に、令和6年度奄美群島たんかん品評会審査会が奄美市で開催されました。今期は秋季の高温・曇天・多雨という品質管理に悩まされる生産環境の中、沖永良部島からの初出品を含む昨年以上の55点もの力作が揃いました。厳正な審査を経て、L・2L部門それぞれの上位各3点を含む計8点を表彰しました。2月10日は奄美大島空港ロビーにて表彰作品を展示した他、関東・関西からの到着便でお越しになったお客様に無料でたんかんの果実を振る舞うなど、積極的なPRに努めました。



展示・たんかんプレゼントPR活動



品評会外観審査



品評会内容審査

#### 4 喜界島で早熟かぼちゃ研修会を開催

2月7日に、喜界町で農業開発総合センター徳之島支場の満留研究専門員を講師に、早熟かぼちゃの研修会を開催しました。受精の生理生態からミツバチ受粉が可能な時期は3月下旬以降が良く、2月下旬～3月上旬は人工交配が望ましいとの指導を受けました。喜界町の早熟かぼちゃは、栽培面積100a以上の大規模農家が10名となるなど、生産者の規模拡大が進んでおり、確実な受精が生産安定につながることから、人工交配とミツバチ交配を組み合わせた着果安定を指導していきます。



早熟かぼちゃ栽培研修会

#### 5 喜界町コーラルプロジェクトが進行中

2月19日、喜界町コーラルプロジェクト第2回推進会議が喜界町で開催されました。営農支援システムのデモデータによる試験運用の開始、モデル農家への自動操舵システムの設置、微気象観測システムの設置とデータ観測の開始、ドローンモニタリングの活用方法等、プロジェクトへの取り組みが進行中です。農政普及課ではスマート農業によるさとうきび振興が図られるように、関係機関や生産者と連携して活動していきます。

#### 6 喜界町の若手マンゴー農家へ支援拡充を図る

2月20日に、喜界町マンゴー若手研究会が町内若手栽培者園地で初開催されました。本研究会は、昨年10月に同町内で開催された喜界町マンゴー産地育成検討会での「若手への支援を充実させるべき」との声を受け、企画・開催されました。当日は若手農家4名の園地を、今月新たに認定された果樹経営指導農業士、普及指導協力委員、関係機関と巡回しながら、栽培方法や使用機材等について率直な意見交換がなされました。今後は参加者の声を聞き、対象者拡充など会の充実に繋げていきます。